



しらみず

いわき市立白水小学校
学校便り 第16号
平成29年3月23日
発行者 校長 遠藤隆宏

卒業・修了 おめでとうございます。

本日をもって、203日間に渡った平成28年度の教育活動が終了となります。6年生3名は、白水小学校を卒業し、それぞれ中学校へと進学。そして4名の在校生は、現在の学年の課程を修了し、ひとつずつ上の学年に進級します。

この時期には、毎年、卒業生を何年間も見送ってきました。卒業という門出でおめでたいこととは知っていながらも、毎日、学校に当たり前のようにいた3人の6年生が、学校に来てもないのかと思うと、別れは淋しいのが正直なところでした。

くんは、いつも冗談を言ってはみんなを笑わせてくれました。くんは、野球の話が大好きで、WBCの話で盛り上がりました。くんは一年間欠席0で、宿題を忘れることも一度もありませんでした。

4月からは、卒業した3人の分まで、元気いっぱいがんばっていきたいと思っています。残った4人がそれぞれ2人分のパワーでがんばっていけるよう、学校職員が一丸となって教育活動を推進していきます。

卒業生の保護者の皆様、6年間にわたって、本校児童のために本当に一生懸命にお力添えをいただきました。PTAとしてもそれぞれが役割を担い、ご負担も大きかったことと思います。本当にお世話になりました。

在校生の保護者の皆様、次年度以降も様々な面でご協力をお願いすることも多いかと存じますが、どうぞよろしく願いいたします。

本日は、卒業・修了、おめでとうございます。

橋本尚江先生 お世話になりました。

本年度、白水小学校で主に2年生の授業を担当して下さった橋本尚江先生は、3月22日をもって本校の勤務を終えることになりました。2年生の蒼史くんへの細やかな指導はもちろん、休み時間には全校生といっしょに遊んでくださったり、行事ではいつもピアノの伴奏をしてくださったりと、本当にいろいろな面でたいへんお世話になりました。

昨日、子どもたちとお別れの会を行い、代表してくんがお別れの言葉を伝えました。

尚江先生、また、いつでも白水小学校に遊びに来ていただけること、楽しみにしています。



上段の右から2番目が橋本尚江先生

◇ 春休み以降の主な学校行事予定

23日(木) 修了式・卒業証書授与式

24日(金) 春休み ~4月5日(水)

27日(月) 教室移動 児童登校日

28日(火) 離任式 児童登校日

6日(木) 平成29年度第1学期始業式



学力テストの結果を配付しました

2月に実施した学力検査の結果を配付しました。国語科と算数科の2教科について、本年度の学習内容がどの程度定着しているかの内容になっています。7名の児童それぞれに個人差はあるものの、全体的に見れば、昨年度の結果を大きく上回ることができました。子どもたち一人ひとりが、本年度にがんばった学習の成果の現れかと思えます。

春休みは宿題がありませんが、学力検査の結果も踏まえて、自分が苦手だった内容や忘れてしまっている内容について復習をすることについて子どもたちに伝えてあります。本年度の学習内容は本年度のうち身に付けることができるよう、ご家庭でも声掛けをお願いいたします。

3月の教育活動より

ホームページでも情報を発信しています。
携帯電話からでも見ることができます。
右のバーコードを読み取ると、本校の
ホームページにつながります。



本年度最後の授業参観・・・3月3日(金)

本年度最後の授業参観を3月3日に行いました。5、6年生は総合学習で取り組んできた「白水川的环境」等についての発表会を行いました。4年生は理科でものの温まり方の実験している様子を参観していただきました。2年生は道徳の授業を見ていただきました。

授業参観後には、学級懇談会を実施し、本年度の成果や課題等について保護者の皆様に説明する場を設けました。保護者の皆様、ご多用の折、ご来校いただき、ありがとうございました。



卒業を祝う会・・・3月14日(火)

3月14日には、在校生の4人が卒業生のために「卒業を祝う会」を開いてくれました。在校生が出題する○×クイズに答えたり、いっしょにゲームをしたりして楽しんだ後、卒業する三人との思い出を発表し、感謝の気持ちを込めたメッセージカードを卒業生一人ひとりに手渡しました。

卒業生は、在校生に歌を聴かせて、お礼のカードを渡しました。

7人の子どもたちは楽しく過ごす中でも、間もなく巣立っていく3人といっしょに過ごす時間を惜しんでいるようにも見えました。



生きる
白水小六年

生きているということ
 いま生きているということ
 転んで痛いと感じること
 風があたると感じるということ
 うれしいと思うこと
 生きているということ
 いま生きているということ
 それは、星
 それは、青空
 それは、富士山
 生きているということ
 遊びが楽しいということ
 お葬式で悲しいということ
 目標に届かず悔しいということ
 生きているということ
 いま生きているということ
 いま合格発表を待っていること
 いま誰かが歩いていること
 いま大工さんが働いていること
 生きているということ
 いま生きているということ
 森は輝くということ
 花は咲くということ
 猫は日向ぼっこをすること
 人は走るといふこと
 人は野球を楽しむこと
 人はラーメンがうまいと感じること
 いのちということ
 卒業すること

六年生が谷川俊太郎の「生きる」を参考にして、自分たちの「生きる」を詩にしました。